

台湾で製材に使われる木材の種類

台湾の製材で使用されている木材の種類を、原産地別に以下に示す。

1. 国産材

林業及び自然保育署の統計によると、近年台湾で生産される針葉樹原木の95%以上はスギ、タイワンスギ、コウヨウザンの人工林木材で、ごく一部が人工林を間伐したヒノキやショウナンボクなどである。広葉樹は主にアカシア、「楠木」(Phoebe zhennan)、マホガニーなど、標高が低い所の広葉樹である。

2. 南洋材

輸入される南洋材の針葉樹には、主にアガチス、フッケンヒバ(市場ではベトナムヒノキ、ラオスヒノキとして知られている)、ランダイスギ、ナンヨウスギである。広葉樹は、主にフタバガキ科のメランチ類(ホワイトメランチ、イエローメランチ、レッドメランチ、セランガンバツ(ダークレッドメランチ)の4大樹種を含む)、カプール、アブラヤシ、ガギール、ボルネオテツボク、メルバウ(太平洋鉄木)、バワンフタン、チーク、ケンパス、黄檀、ローズウッド、黒檀、紫檀などである。

3. 北米材

針葉樹は主に、マツ科のトウヒ、ツガ、モミ、ダグラスファー、サザンパイン、ヒノキ科のベイヒバやベイスギ(アメリカネズコ)などがある。広葉樹は主に装飾材や家具材として使われるホワイトオーク、レッドオーク、ハードメープル(カエデ)、ブナ、クルミなどである。

4. 中南米材

輸入される主な針葉樹はメキシカンサイプレスとチリ産ラジアータパインである。広葉樹は、人工林のマホガニー、タタジュバ、チェリーウッド(Tatabuballi、学名Martiodendron parviflorum)、マニルカラ(アマゾンジャラ)、サガリバナ、イペなどである。

5. アフリカ産木材

主に西アフリカ産の広葉樹を輸入しており、アサメラ、オカン、ワンバ(Wamba)、アゾベ、サペリ、ウェンジ、アフリカ紫檀、黒檀等の樹種がある。

6. オセアニア産木材

主な針葉樹はニュージーランドから輸入するラジアータパインで、主に合板産業で使

用される。広葉樹は主にパプアニューギニアとソロモン諸島から輸入され、ガギール、メルバウ（太平洋鉄木）、ロフォステモン・コンフェルツス、ゴールデンペンダ、ユーカリなどである。

7. 欧州材

主に針葉樹のヨーロッパトウヒとヨーロッパアカマツである。

8. 北東アジア産木材

主にロシアのカラマツと日本のスギ、ヒノキ。